

新年おめでとうございます。

行橋教会に赴任してから早くも九ヶ月になりました。「へえ…九ヶ月も…うそ…」と言いたいほど、時間があっという間に過ぎ去りました。

郷愁に満ちた話だ」と思う方がおられるかもしれないが、老いることがいやで、カレンダーを憎い目で見ていると思わせるような話をする考えは毛頭ありません。



カレンダーのページをめくると、舞いながら木から落ちてくる枯葉の光景がすぐ頭に浮かんでいきます。美しく、思い出深い光景ですが、同時にそれは、「時」が過ぎて行くしでもあるだけに、心の中で何となく寂しい思いをすることを隠すことができません。

外されたカレンダーのページは落ち葉のように、過ぎ去った「時」が戻らないことを告げ知らせています。

「新年を迎えているというのに、すいぶん

カレンダーは今後の「時」をも案内してくれます。新しいカレンダーを壁にかけると、夢を抱き、希望で胸が膨らみます。

新年の始めに皆さんはどんな夢と希望を抱いているでしょうか。

行橋と豊津の共同体のことを考えると、私は次のことを期待し、楽しみにしています。

それは皆さんひとりひとりがその共同体に対して認識と連帯を一層深めることです。

ひとり しん
一人で信じるのではなく、自分のためにだけ
しん
信じるのでもありません。

わたし かみ たみ きょうどうたい
私たちは神の民、イエス・キリストの共同体
いちいん いじょう たみ きょうどうたい
の一員である以上、その「民」その「共同体」
のきを きも めい ことを肝に銘じるように心がけなければなり
ません。



わたし かみ たみ
—私たちは神の「民」、イエス・キリストの
きょうどうたい すば めぐ き
「共同体」です。その素晴らしい恵みに気づ
くために、常に目と心を開ける必要があること
をわす れないように気を配りたいと思います。
だせい な から どりよく
惰性と慣れの殻をやぶるように努力すれば、
きと いま よろこ 喜びをかみしめ、味わうこ
とが出来るでしょう。

とき なが は お とき
「時」の流れにおいて葉が落ちる時があれば、
めで
芽が出る時もあります。

お ば ひりょう あたら め で
落ち葉が肥料となって新しい芽が出るように
とし はじ いの
と、年の始めに祈りたいものです。

なお ふあん いだ なや かか あたら
尚、不安を抱き、悩みを抱えてこの新しい
とし おか びょうき わずら くる
年を迎えておられる方、病気を患い、苦しん
かたがた ところ と いの ちち
でいる方々のことを心に留めて祈ります。父
かみ なぐさ
なる神に慰められ、イエス・キリストにカづけ
られ、せいれい ささえ
られ、聖霊に支えられますように、と。



ことし みな うえ かみ しゅくふく ゆた
☆今年も皆さんの上に神の祝福が豊かにそ
そがれることを祈りながら、これからも皆さんの
きょうりよく ねが いた
ご協力をよろしくお願い致します。